

—アンサンブルの根幹からしなやかな響きの美しさが失われず、骨ばった音楽にならないところがこのクワルテットのすばらしさだ。若く血の気の多い団体のように荒ぶることなく、常に余裕を残しているのもさすが。呼吸が自然で、聴き手に息苦しい苦痛を無理強いすることが無い。（大木正純氏評 ※レコード芸術誌 一部抜粋）

SAWA QUARTET 澤クワルテット

1990年11月に結成され、91年春のコンサート・ツアーでセンセーショナルなデビューを飾った。春、秋のツアーを中心に充実した活動を展開。92年、93年、95年、97年には20世紀最高の弦楽四重奏団のひとつ、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの共演による“アンサンブル・アマデウス”演奏会で好評を博した他、94年、97年、99年には国際交流基金の助成を受けてドイツ・オーストリア・イギリスへの演奏旅行を行い、大成功を収めた。96年より長岡リリックホールのアソシエイト・アンサンブルとして、また97年からは豊田市コンサートホールでの室内楽シリーズのホスト役を務めるなど、内外の一流アーティストとの共演も多い。「イサン・ユン最後の室内楽」（カメラータ・トウキョウ）、「我が生涯（スメタナ）、アメリカ（ドヴォルザーク）」（ナミ・レコード）などのCD録音でも高い評価を得ている。2000/2001年のシーズンには結成10周年を機にベートーヴェンの弦楽四重奏全曲チクルス（全6回）に取り組み、好評を博した。また豊田市ジュニアオーケストラや長岡のアンサンブル・リリックの指導や各地の音楽講習会を通じて青少年やアマチュア音楽家、若手演奏家の育成にも積極的である。



第1ヴァイオリン 澤和樹 (Kazuki Sawa)

1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞など国際的に活躍。'80年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジョージ・パウク、ペラ・カトーナ両氏に師事。'84年に東京藝大に迎えられるとともに本格的な演奏活動を開始。'89年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。'96より指揮活動を開始。九州交響楽団、東京フィル、日本フィル、札幌交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ等にも客演し、好評を博す。2004年、和歌山県文化賞受賞。現在、東京藝術大学音楽学部教授。英国王立音楽院名誉教授。洗足学園音楽大学客員教授。大阪音楽大学客員教授。響ホール室内合奏団ミュージックアドバイザー。千里フィルハーモニア・大阪常任指揮者。2016年4月より東京藝術大学学長。



第2ヴァイオリン 大関博明 (Hiroaki Oseki)

1972年国立音楽大学を卒業。在学中に指揮者ジャン・フルネ氏のオランダ、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団への入団試験を受け合格、卒業後直ちに入団。その後75年ドイツ、マンハイム州立歌劇場管弦楽団、76年バンベルク交響楽団に入団。79年群馬交響楽団にコンサートマスターとして招かれ帰国。80年に始まった草津国際音楽フェスティバルには第1回から参加し、多くの世界的アーティストと共演する。87年群馬交響楽団を退団し、同年より母校国立音楽大学で後進の指導にあたる。2015年まで国立音楽大学教授。2015年まで6年間東京藝術大学講師。豊田市ジュニアオーケストラ指導者、紀尾井シンフォニエッタ東京団友。



ヴィオラ 市坪俊彦 (Toshihiko Ichitsubo)

ヴァイオリンを掛谷洋三、田中千香士、奥裕子、海野義雄、澤和樹、水野佐知香、大谷康子の各氏に、ヴィオラを浅妻文樹、菅沼準二の両氏に師事。東京藝術大学付属高校を経て東京藝術大学ヴィオラ科に入学。在学中、安宅賞を受賞し、芸大フィルハーモニアとバルトークの協奏曲を共演、注目される。1992年東京藝術大学大学院を修了。現在は定期的なリサイタル開催のほか、紀尾井シンフォニエッタ東京、東京クライスアンサンブルのメンバーをつとめており、また国内主要オーケストラには客演首席奏者として度々招かれるなど、ソロ、室内楽、オーケストラの分野で積極的な演奏活動をおこなっている。近年は南西ドイツフィルとの共演やイタリアのクーブラ、ペトリートリ音楽祭への参加等、活動の幅を広げている。東京藝術大学准教授、沖縄県立芸術大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。



チェロ 林俊昭 (Toshiaki Hayashi)

チェロを青木十良氏に師事。1970年桐朋学園高校音楽科を卒業後渡米し、ボストン大学でG.ナイクルックに師事。一時帰国後、77年渡欧し、A.ナヴァラ、W.プリース、P.フルニエ、A.ヤニグロらに師事。79年よりローマに居を定め、翌年聖チェチリア音楽院を最優秀で卒業する。ピアニストの夫人とはデュオ・ハヤシとして数々の国際コンクールでの入賞歴を持ち、イタリアを中心に活動。87年にイタリア「フォネ」社より発売されたデュオとトリオのレコード及びCDがイタリア一流音楽誌で最高評として5つ星を得る。同年大阪フィルハーモニー交響楽団の首席奏者として招かれ帰国、95年まで在籍。その後、大阪センチュリー交響楽団首席奏者を務める。2001年、05年、10年には「千人のチェリスト」のコンサートマスターを務める。室内楽やソロ活動を積極的に行う一方、徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、また東京藝術大学では2011年まで15年間にわたり弦楽科講師として、2016年より室内楽科講師として後進の指導にあたっている。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業